

令和5年度 第2回 芳川北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年8月2日（火）10時00分から12時00分まで
- 2 開催場所 芳川北小学校 多目的教室・2年1、2、3組教室
- 3 出席委員 河島 茂男、榎谷 志保、金山 康乃、鈴木 章真、鈴木 俊徳、
建部 透、廣野 博子、見野 潤一郎、村松 真弓
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 古橋 一哲（南陽協働センター）
- 6 学 校 櫻井 敬子（校長）小野 芳敬（教頭）高橋 賢司（CS担当教職員）
仲山 麻由（教務主任）1年担任 伊藤 友加、根木 勝広、袴田 淳平
2年担任 藤田 由美子、新井 将宏、3年担任 赤堀 扶美子、加藤 哲
平 4年担任 河合 美香、斎藤 衣津香、半田 桃香 5年担任 岡田
真吾、山下 裕貴 6年担任 影山 裕紀、中村 早希 なかよし担任
澤根 千英子、片岡 亜裕子 松本 茅世、鈴木 美智子、相馬 明珠美
星川 久美子
宮本 多代子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課） 石原 麻美（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 宮本 多代子
- 10 会議記録

2年1～3組教室と多目的教室とをリモートでつなぎ、司会の高橋から委員全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

会長挨拶、校長挨拶の後、発達学級3学級まとめたのカリキュラムマネジメントの発表があり、それに対して、村松委員から、「興味深く話を聞いた。子どもの成長を楽しみにしている」という感想が出された。その後、各教室毎にカリキュラムマネジメントの説明及び委員よりの質疑応答がなされた。

(1) 低学年教室記録

①1年生のカリキュラムマネジメントの発表

質疑

- ・構想図にある SST とは？ 大人でも苦手な人がいますね。（村松委員）
- ・タブレットが普及したが、「聞く」が基本を小さいころから大事にしたい。学校だよりでも、「聞く」の大切さを発信している様子が伺える。家庭、親にも「子供の話を最後まで聞く」を試してほしいことを学校からも発信してほしい。（河島委員）
- ・子供に、「最後まで聞いてもらった経験」をさせたい。自分の思いを聞いてもらうから、会話のキャッチボールができる。そうした体験を大切にしたい。（村

松委員)

・園長としての立場で…。子供たちが一生懸命話を聞ける時間とはどのくらいか。1年生で45分では長いのか？(鈴木俊徳委員)

・15分ごとに活動を区切るなどの工夫をしている。45分ずっときちんと聞くは難しい。この授業ではこれ！を1つ意識して授業をしている。(伊藤友加教諭)

・引き込みりそうな子。共働き世帯。親が、子供の話を聞く余裕がない。親子間での「後で。」は二度とないとよく言う。良いことは聞かないで悪いこと(誰かに何かをされた。)は聞く。を、親はやめていきたい。こども園でも伝えていきたい。(鈴木俊徳委員)

②2年生のカリキュラムマネジメントの発表

質疑

・いいこと見付けについて、友達のいいところを取り入れようとする姿勢は身に付いたか。友達のいいところをどんどん真似できるとよい。叱るより褒めていくという姿勢がよい。(鈴木俊徳委員)

・集団の中で必要とされていると感じることが大事。(村松委員)

・よいところを伸ばしている様子が伝わる。学習面は、主体的な伸びを期待したい。「げんぴーくんのあいうえお」が、分かりやすい。(河島委員)

(2) 中学年教室記録

①3年生のカリキュラムマネジメントの発表

質疑

・小3は難しい時期だと思う。不登校の始まりとも聞いている。生きた知識を子供たちに伝えてほしい。先生の元気が伝わるとよい。(建部委員)

・読み聞かせで来ており、楽しいクラスと感じている。難しい時期ではあるが、学校では、いろいろな目標をもたせて、いろいろな力を付けてくれている。誰一人置いていかないという姿勢が素晴らしい。(金山委員)

・毎週の振り返りがとても良いと思う。3年生はちょっと変わってくる時期。とおらんせの子の成長を感じている。(廣野委員)

・3年生で始まる習字やリコーダーは、丁寧に見て、基礎を身に付けてほしい。(金山委員)

②4年生のカリキュラムマネジメントの発表

質疑

・4年生は福祉をやるという認識をもっている。近所に目の不自由な方が盲導犬と共に暮らしているが、日本は、そういった方たちへのサポートが不足している。どうしたらいいか分からないのだと思う。外国は小さいころから教育されているので、自然に声掛けや手伝いができる。機会があったら芳川

北小でも機会をもうけたらどうでしょうか？出会いがあることによって将来の福祉活動につながるとうれしい。(廣野委員)

(3) 高学年教室記録

5年のカリキュラムマネジメントの発表

質疑

・細かくプログラムが組まれていて感心した。行動範囲が広いので、子供の実行力が一番大切であると思う。(見野委員)

・日々を大切に過ごそうという気持ちを持つ。思い切りやる。新しい景色を見ることが大切だと思う。(見野委員)

・学年経営図が明確でわかりやすい。将来を見越して、学校教育をしてほしい。家庭でサポートできるところはしていきたい。(鈴木章真委員)

・時代が変わった。特に暑さ。昔は、外で遊び、ルールやモラルを学んできた。(鈴木章真委員)

・来年度は、学校を引っ張っていく存在となるので、縦のつながりを意識した活動をしていくとよいのではないか。(鈴木章真委員)

・流されやすく、目的を持って活動をするのが難しいと感じている。先生方と共に考える力を付けていってほしい。家庭で行えることを学校から発信してくれるとありがたい。(榎谷委員)

6年のカリキュラムマネジメントの発表

質疑

・6年間で大きく成長した。1年生から6年生までを見たときの成長度が分かる。(見野委員)

・地域の人との関わりの少なさを感じる。校外での挨拶が課題である。(見野委員)

・大半の子供が人前で話すのが苦手であるので、高学年から練習は必要。小さなことでも質問していくことが必要である。教員の得意を子供たちに示して、子供の学びを広げていくことがよいと考える。(鈴木章真委員)

・地域からも子供に声をかけていくとよい。(鈴木章真委員)

・子供たちの成長を感じた。集団の中で意見を伝えるのは苦手だと思うが、鍛えていく必要がある。多様な意見を受け入れながら、自分の意見を伝える。教員の後押しが必要。(榎谷委員)

各教室での話し合いの後、多目的教室にて、委員及び各学年主任での熟議を行った。

11 議長の選出

前回の終わりに、選出してあった廣野委員が務めることを全員が了承し、決定した。

12 熟議

まず、委員の各教室で記入したメモを黒板に貼り、それを見てもらい、その後熟議に入

った。

- ・各教室で先生方の話を聞いて、話し合ったことを踏まえて、家庭地域でできることを発表していただきたい（廣野委員）
- ・挨拶は子どもからしてくれるのを待つのではなく、大人からしていくのがよい（河島委員）
- ・積極的に発信していってくれば、家庭が動ける。（榎谷委員）
- ・1学期にリコーダーや習字の授業にボランティアが参加したように、新しいことや学習が始まる時に、もっとサポートできる。（金山委員）
- ・8月8日に盆踊りやおみこしなど地域での活動を行う。地域の力を高めて失われた地域コミュニティを取り戻すことが子どものために大切だと考える。（鈴木章真委員）
- ・コミュニケーション力を付けさせたい。そのためには人の話を聞くことが大切だが、家庭でちゃんと聞いてもらっていない子は聞けない。地域の人が先に挨拶して、声掛けするようにしたい。（村松委員）
- ・子ども一人一人の力を伸ばしていこうと学校が努力していることがよく分かった。実行力を高めるために援助していくのが地域だと思う。（見野委員）
- ・子どもが元気に学校に通うことが一番大切だと思う。声掛けし、話を聞いてやるのが大切だが、言葉にはその人自身の個性、雰囲気も含まれるので、大人としての努力もしていきたい。（建部委員）
- ・教員としてのプライドを持って子供に接してほしい。地域の一員として学校を見守っていく。（鈴木俊徳委員）
- ・初めての企画で、先生たちのことが分かった。これからも学校や先生に寄り添った協力をしていきたい。盆踊りを教えたので、夏祭りが楽しみである。

以上のような意見が出され、これからも家庭や地域でできることをやっていくことが承認された。

13 その他報告事項等

ボランティア活動の実施について金山委員から「なないろパレット」の延べ人数等が報告された。次に学校評価について校長から7月に行った保護者アンケートについての資料の説明があった。また、コミュニティー・スクール研修会に参加した見野委員からの報告がなされた。

司会から、次回会議は11月10日（金）14時～16時 多目的教室で開催する旨の報告があった。また、参開会と校内運動会の日程等への参加も勧められ、下位を閉じた。